

「守る」から 「事業価値創出」 への転換点

第35回 2026知財・情報フェア&コンファレンス
戦略インサイト・レポート

DATE: 2026.09.18

DATA SOURCE: Claude Fable 5.1 Analysis



2026年の知財業界を牽引する5つのメガトレンド

1



[SCALE] 過去最大の熱狂

出展171社・108プレゼン（過去最大規模へ拡大）

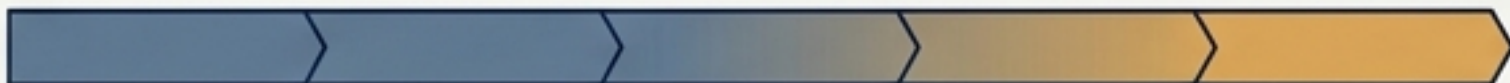
2



[TECH] AI/MCPの自律連携

検索ツールから、API連携による業務実行支援（エージェント）への進化

3



[SCOPE] バリューチェーン全域への拡張

発明発掘からブランド保護まで、AI適用領域の全面展開

4



[HUMAN] 「AIファースト」の組織変革

生産性向上から、知財部門の価値創出・次世代人材育成への再投資

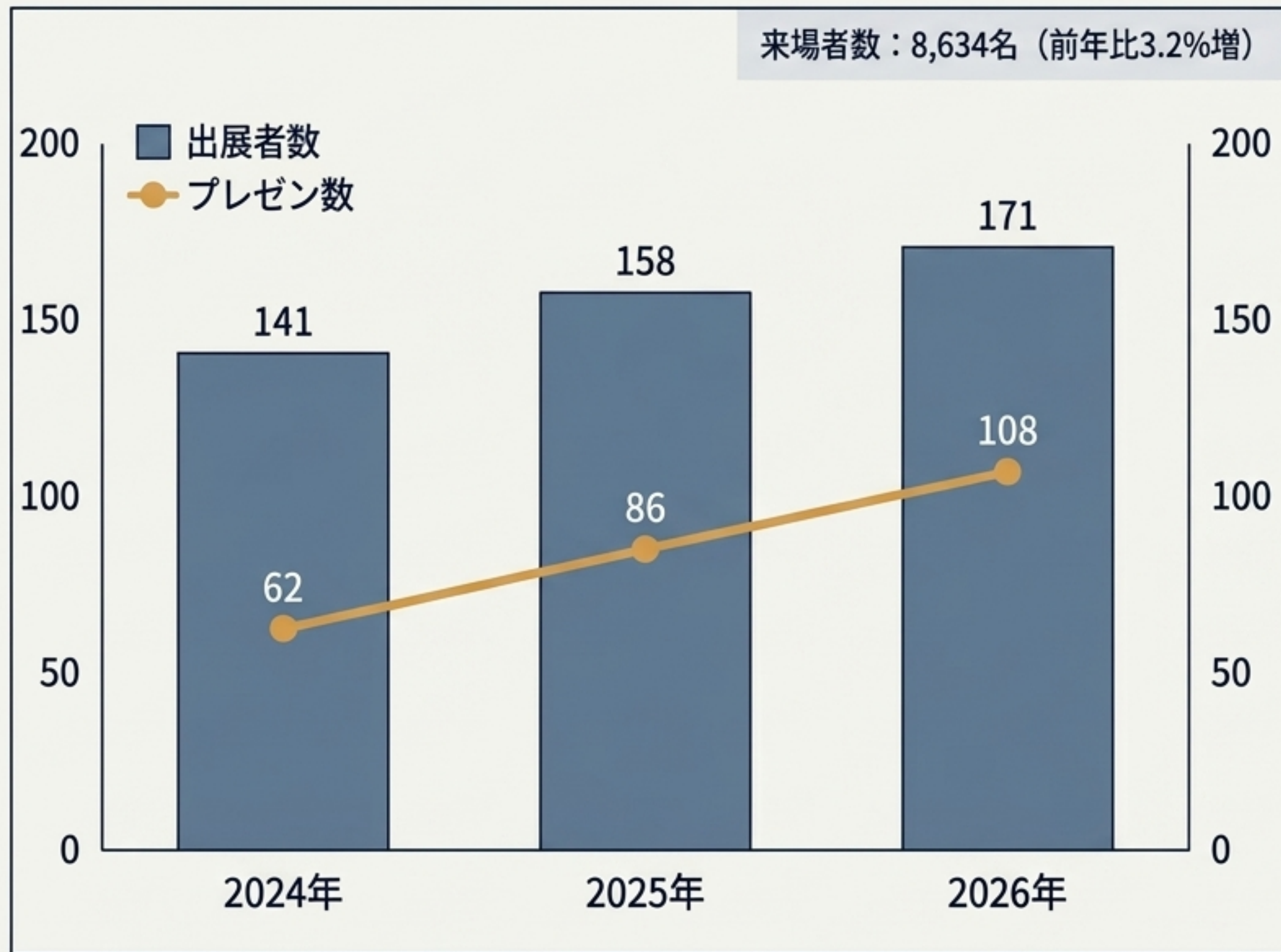
5



[GLOBAL] グローバル知財機関の再編

韓国MOIPの昇格、EUIPOの人間中心AIなど、国際的な制度アップデート

業界の重心は「ツールの展示」から「ソリューションの実装」へ移行



インサイト

プレゼンテーマ数の伸び（1.7倍）が出展者数の伸び（1.2倍）を圧倒的に上回る。

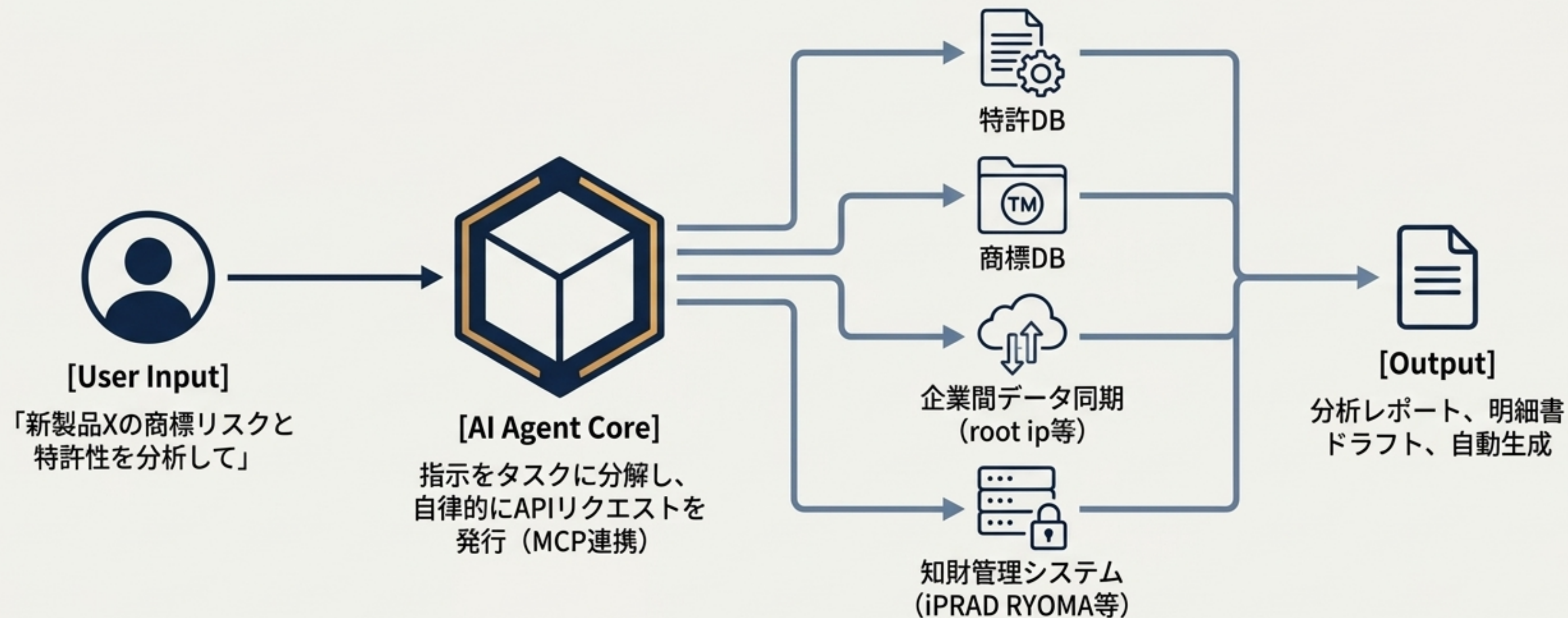
これは、知財ベンダーと企業のコミュニケーションが、単なる機能説明から「具体的な業務へのAI実装シナリオ」の提案フェーズへと深化している確たるシグナルである。

パラダイムシフト：「防御的处理」から「自律的価値創出」へ

	伝統的知財モデル（～2023）	次世代知財モデル（2026～）
[コアミッション]	権利の保護とリスク回避	事業価値の創出と経営戦略への寄与
[AIの役割]	局所的な業務支援 （先行技術調査など）	バリューチェーン全域での自律的業務実行
[システム連携]	個別ツールのサイロ化された導入	MCP等によるAPI自律連携・データ同期
[人材の価値]	迅速・正確な事務処理と明細書作成	AIの出力評価、ライセンス交渉、IP戦略立案

「守る」から「活かす」への転換はスローガンではなく、実装可能なアーキテクチャへと進化した。

AIエージェントの衝撃：MCPが実現する 「自律型・知財業務パイプライン」



コンテキスト：人間がAIの出力をコピペする段階から、AIがシステム間でデータを直接やり取りし、業務を完遂するフェーズへの移行。

拡張するAI適用領域：知財バリューチェーン全域のカバー

知財バリューチェーン全域のカバー



インサイト：局所的な調査ツールの展示から、川上から川下までを一気通貫でカバーするエコシステムが完成しつつある。

経営戦略との同期： 大企業と中小企業における知財の実戦投入



大企業のイノベーション基盤 JR東日本

登壇者：西村佳久氏（常務執行役員）

巨大インフラ企業におけるイノベーション推進と知的財産戦略。

知財を「事業を守る盾」から「新規事業を創出するエンジン」へと再配置するアプローチ。



中小企業の経営と知財のリアル セメントプロデュースデザイン

登壇者：金谷勉氏（代表取締役社長）

模倣被害の実体験に基づく、机上の空論ではないリアルな知財活用。

経営戦略と完全に紐づいた、生存と成長のためのプロテクションとブランディング。

The "AI-First" Transformation : 生産性向上から価値創出へのサイクル



SOURCE: 特別フォーラム1 (AIファースト時代の戦略転換) & 特別フォーラム2

AI時代のジレンマ：情報管理のガバナンスと能動的ブランド保護

[DEFENSE / TRUST] 情報管理とセキュリティ



「そのAIに知財情報を入れて大丈夫？」
(GMOブランドセキュリティ)

- 機密情報の取り扱いとプロンプト漏洩リスク
- AI利用における信頼性確保と社内ルールの策定



[OFFENSE / PROTECTION] AIによる能動的保護



「AIエージェントが変える最新ブランド保護」
(MarqVision)

- グローバルEC・SNS上の模倣品を自律的に検知・申請
- 従来の人海戦術では不可能だった圧倒的な保護力の実現

AIは「新たなリスク」を生むと同時に、従来不可能だった「圧倒的な保護力」を提供する。

Global IP Reorganization : 再編されるグローバル知財エコシステム

[KOREA] MOIP

2025年10月に国務総理室直轄へ昇格
・改組。KIPRISとAIサービス展開。

[EUROPE] EUIPO & EPO

EUIPO : 人間中心のAI活用ポリシーとEU意匠改正。

EPO : 単一効特許による欧州発明保護の新たなゲートウェイ。

[GLOBAL] WIPO & JETRO

PATENTSCOPEの進化(WIPO)と、米中の最新知財概況(JETRO)。

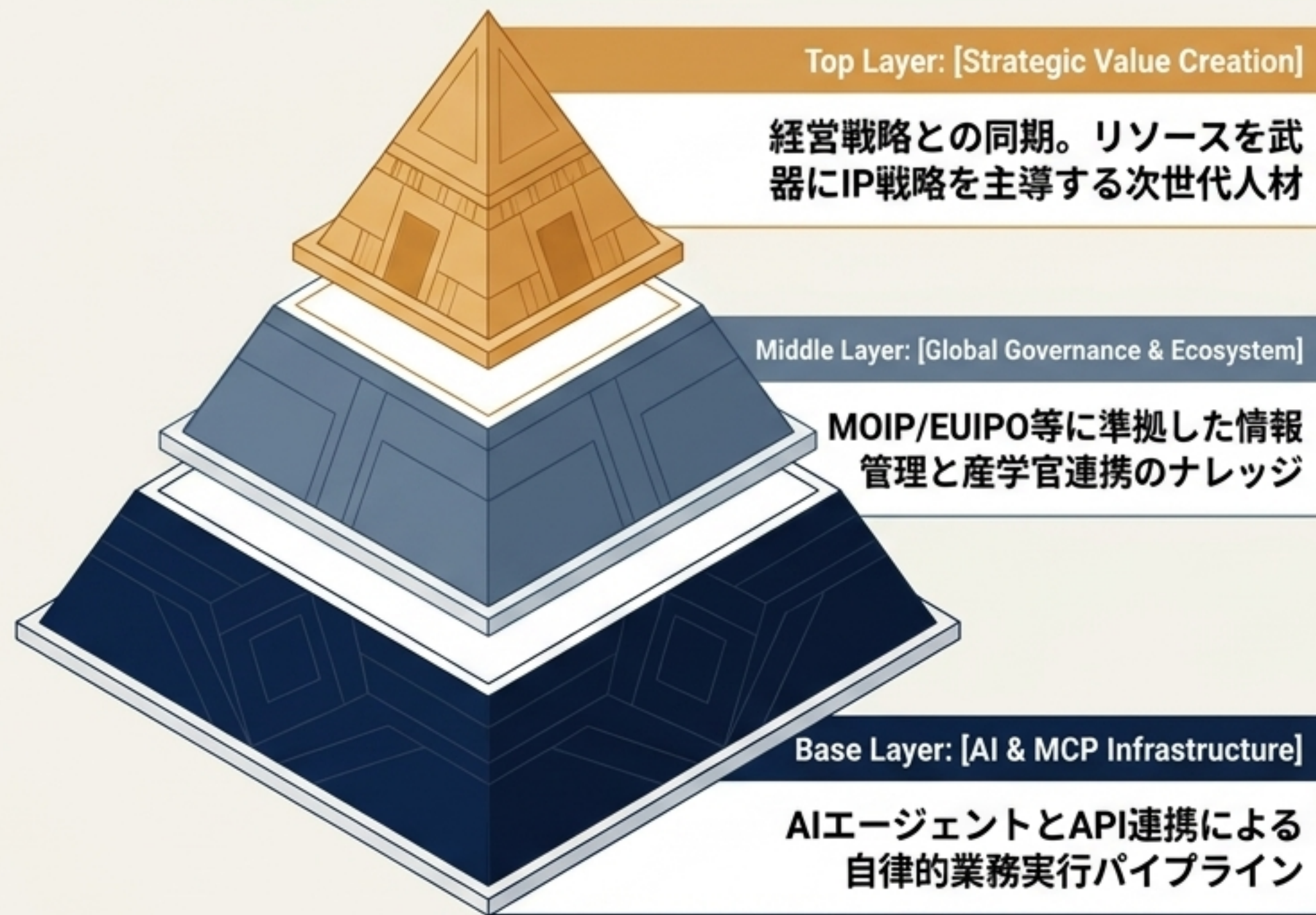
インサイト : 各国政府レベルでAI実装と制度改正が急ピッチで進行。「人間中心」のアプローチが急務となっている。

拡張する産学官連携：日本発・知財情報ネットワークの面展開



キーメッセージ：J-PlatPat等のインフラを通じ、大学から地方企業まで、ステークホルダーが知財を共有する「民主化」が完了しつつある。

The 2026 IP Command Center : 次世代知財部門の全体設計図



第35回知財・情報フェアが証明したのは、AIツールの進化ではない。

AIを基盤として使いこなし、自らを「事業価値の創出者」へと再定義した『次世代知財部門の誕生』である。

自社のIPダッシュボードを、今すぐアップデートせよ。